



経済産業省
北海道経済産業局

共同輸配送デジタルマッチング事業について

～物流データの見える化により荷主や物流事業者の連携を促進～

2025年11月

(本発表資料のお問い合わせ先)

経済産業省北海道経済産業局

産業部 産業振興課

課長：佐々木 信之 担当者：小島、桧森

電話：011-709-2311(内線2591・2592)

E-mail：bzl-hokkaido-sangyo@meti.go.jp

概要

- 経済産業省北海道経済産業局は、広域で人口が分散する北海道における物流課題の解決に向け、道内の荷主や物流事業者が、デジタルを活用した「共同輸配送」等を推進するために、2025年度に以下の取組を実施します。

取組① 共同輸配送デジタルマッチング事業

数多くの参加者が輸送データをシステムに登録し、集まったデータベースをもとに連携したい相手を探し、事務局がマッチングをサポートする仕組み。様々な共同輸配送パターンを分析・モデル公開することで、事業者等の自主的な連携も促す。2024年度、行政主導の取組としては「全国初の試み」として実施した事業を拡大するもの（長期間の実証）。

取組② 水産物流の効率化・標準化モデル実証事業

経済産業省が推進する「フィジカルインターネット（※）」の実現に向けて、北海道の基幹産業の一つである水産業にフォーカスし、特定の水揚げ地から道央圏の輸配送ルート・手法、荷姿・荷票の標準化等の検討・実証を行う。

取組③ シンポジウムの開催

取組①・②の成果の他地域への横展開を図るためのシンポジウムを開催し、物流効率化に向けた機運醸成を図る。

- 本事業を通じて、北海道で物流改革の取組を推進し、全国にモデルケースとして発信することにより、道内外の様々な地域における持続可能な物流モデルの構築を促します。

※フィジカルインターネット（次世代の物流システム）

共通の回線を用いてパケット単位で通信を効率的に実現しているインターネット通信の考え方を物流（フィジカル）に適用した新しい物流の考え方。デジタル化により、物資や倉庫の情報等が見える化し、規格化された容器に詰められた貨物を、複数事業者の倉庫や車両等をシェアしたネットワークで輸送するという共同輸配送システムの構想。

共同輸配送デジタルマッチング事業（概要）

- 2024年度に引き続き「共同輸配送デジタルマッチング事業」を実施。**長期間の実証期間を設け、より多くの輸送情報を収集**することで、事業者マッチングの可能性を高め**より一層の共同輸配送の促進**を図る。

事業内容：

- 混載や帰り便の貨物手配などの共同輸配送に取り組む意向をもつ事業者を対象として、**システム上で共同輸配送のデジタルマッチングを促すためのサービスを提供**。北海道内における**輸送情報の集約化・データ化**を行う
- また、本事業を通じて得られた物流データ等を活用し、共同輸配送等の動向及びデジタルマッチングに関する効果検証を行う

事業期間：2025年8月26日（火）～2026年1月30日（金） **登録費：**無料

連携先：農林水産省北海道農政事務所、国土交通省北海道開発局・北海道運輸局、北海道

事務局：traevo noWaデジタルマッチング事務局

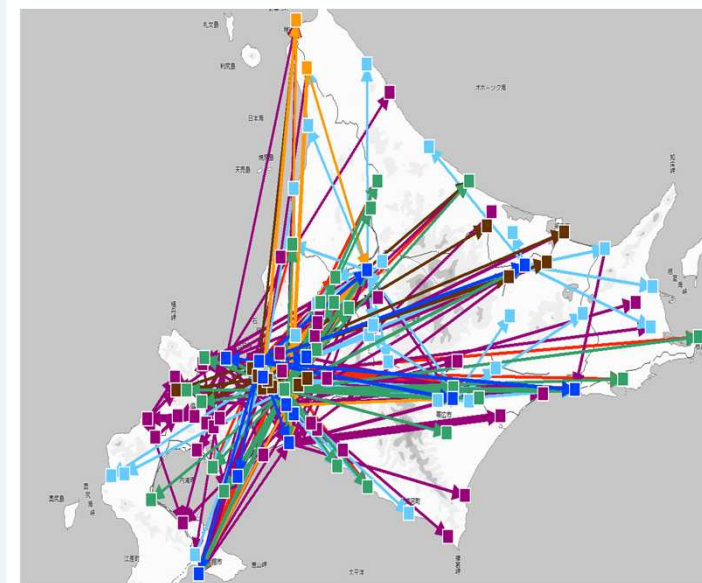
システム利用の流れ：

輸送データ（出発地・到着地・輸送量等）を入力・送付

自社データを元に希望条件を入力して共同輸配送相手を探索

共同輸配送相手との検討可否のコミュニケーション

双方合意となれば直接詳細条件などを確認、協議



物流データを可視化することで、常時、共同輸配送に関心をもつ事業者同士のマッチングが可能となり、一層の共同輸配送の促進が期待できる

共同輸配送デジタルマッチング事業（登録内容・方法）

- 共同輸配送デジタルマッチング事業への登録に必要な輸送データは、トラックの出発地・到着地、毎月の輸送量など。
- 登録様式に必要な輸送データを記入し事務局に提出。発行されるアカウントでマッチング候補を検索することによって、条件の合うマッチング候補事業者と共同輸配送を検討。

必要となる輸送データ

- トラックの出発地・到着地
- 毎月の輸送量
- 車種（平ボディ、ウィング車、トレーラー等）
- 車格（2 t、4 t、10 t、20 t等）
- その他のオプション（ダンプ、冷凍、冷蔵等）

登録方法

登録様式に必要事項を記入し事務局に送付

- ※ 入力情報は、匿名加工の上で共同輸配送デジタルマッチングシステム上に反映し、動向分析・効果検証に活用予定。情報保護に万全を期すとともに、原則として、第三者へ開示・提供することはありません。
- ※ 共同輸配送デジタルマッチング事業への登録やシステムの利用によって、登録事業者間で生じたトラブル等については、一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

帰り便マッチングの検索例 積み地・降し地/回送時間・距離/車種/車格等で検索

The screenshot shows the 'traevo' web application interface. On the left, there are search filters for '検索対象' (Search Target) with options for '回数' (Frequency) and '車種' (Vehicle Type). Below this, there are filters for 'エリア' (Area) and '拠点' (Base). The '回送条件' (Return Conditions) section includes filters for '回送距離' (Return Distance) and '回送時間' (Return Time). The '車種' (Vehicle Type) section includes checkboxes for 'トラック' (Truck), 'ウィング' (Wing), '平ボディ' (Flat Body), 'トレーラー' (Trailer), 'ウィングセミトレーラー' (Wing Semi-Trailer), 'ウィングフルトレーラー' (Wing Full Trailer), and 'セミトレーラー' (Semi-Trailer). The '検索条件' (Search Conditions) section is also visible. The main area shows two maps: '発拠点候補' (Origin Point Candidates) and '着拠点候補' (Destination Point Candidates). The '発拠点候補' map shows a red dot labeled '石狩発' (Ishikari Origin). The '着拠点候補' map shows a red dot labeled '帯広着' (Obihiro Destination). Below the maps, there is a table of search results.

共同輸送	発拠点	共同輸送	着拠点	往復回送距離	車種	車格	合計	23/10	23/11
市町村	回送距離	市町村	回送距離						
江別市	13km	帯広市	0km	13km	箱車	6	5840	496	480
北広島市	0km	中札内村	25km	25km	箱車	7	366	31	30

検索結果

登録方法・様式、申込・問い合わせ先

登録方法

下記のQRコード（北海道経済産業局HP）から登録様式をダウンロードいただき、必要事項を記入の上、件名を「〔事業者名〕共同輸配送デジタルマッチング事業」として、下記申込先までE-mailにて送信願います。

入力いただいた情報は、匿名加工の上で共同輸配送デジタルマッチングシステム上に反映し、事業期間中に限り掲載。
また、動向分析・効果検証に使用させていただきます。

北海道経済産業局HP

URL : <https://www.hkd.meti.go.jp/hoksc/20250826/index.htm>



北海道経済産業局HP

申込先

事務局 : traevo noWaデジタルマッチング事務局

E-mail : joinnowa@traevo.jp

※問い合わせ先とメールアドレスが異なりますのでご注意ください。

※申込後、事務局からメールにてシステムURL等をご案内いたします。

※個人情報については、その保護に万全を期すとともに、原則として、第三者へ開示・提供することはありません。

共同輸配送デジタルマッチング事業への登録やシステムの利用によって、登録事業者間で生じたトラブル等については、一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

問い合わせ先

事務局 : traevo noWaデジタルマッチング事務局

E-mail : qanowa@traevo.jp

電話 : 03-6416-5071

(参考・2024年度) 共同輸配送デジタルマッチング事業の結果

- 年末年始を跨ぐ約1カ月の事業期間中、**1,743ルート（44事業者）**の登録があり、**82ルート（10事業者）**からマッチング希望が寄せられた（約5%のルート・2割以上の事業者）。
- 登録ルートの分析検証では、「道央」と「地方」間の約300ルートで共同輸配送マッチングの可能性が示され、全体として、都市部から地方部への輸送量が多い傾向。また、**輸送量の大きな事業者は都市部、輸送量の小さな事業者は地方部を発地とする傾向も一部みられた**。荷動きなどの異なりも含め、各々の参画促進が今後の効果的なマッチングに寄与するものと考えられる。

共同輸配送デジタルマッチング事業の結果

事業期間	2024年12月12日（木）～2025年1月31日（金）		
登録数	1,743ルート（44事業者）	マッチング希望数	82ルート（10事業者）

登録事業者の2割以上、
登録ルートの約5%が
マッチング候補に！

共同輸配送デジタルマッチング事業の分析検証

共同輸配送マッチングの可能性	道央地域－道南・道北・道東地域間	295ルート	※回送距離（空送距離）を50kmと設定
----------------	------------------	---------------	---------------------

北海道における長距離便の共同輸配送に可能性あり

都市部から地方への輸送量が多い傾向

札幌市をはじめとして、道内都市部を発地とする輸送が多い傾向があり、地方部から都市部への輸送と比べると、輸送量にギャップが生じている。

荷動きや規模などの異なる多様な事業者の参加によるマッチング機会の創出が重要

- 輸送量の大きな事業者は、札幌市以外も含めた都市部を発地とする傾向。一方、輸送量の小さな事業者は、地方部を発地とし、輸送量の大きな事業者とは異なる荷動きや輸送区間となることも多い。
- 今後、荷動きや規模などの異なる多様な事業者の参加により、数多くのマッチング機会の創出を図ることが重要。